

植物性乳酸菌テクノハーベストによる植物などの病原菌抑制効果

開発者名 株式会社環境セラステクノ

賢材分類

乳酸菌には動物性乳酸菌と植物性乳酸菌があります。その違いは以下。

動物性乳酸菌：生息場所は栄養の豊富なミルクや動物の消化管内です。

植物性乳酸菌：栄養が乏しく環境も厳しい植物体で生存可能です。

乳酸菌とはその名の通り {乳酸を作り出す菌} の総称で、他にも有機酸や抗菌性タンパク質、エタノール類、その他抗菌性の物質を作り出します。これらの作用により乳酸菌が生息している場所では病原性微生物の繁殖が抑えられます。植物性乳酸菌テクノハーベストは特に植物への定着に優れているので、農産物等は傷や微孔、根の破碎孔から細菌やウイルスが侵入してしまいますが、事前にテクノハーベストをそれらの定着させることにより病原菌の侵入、繁殖を抑える効果が期待できます。

テクノハーベスト乳酸菌（青色球状）とヒトの悪玉菌である大腸菌（赤色棒状）を混合して培養を行い、どちらの菌が勝ち残るか確認した結果です。時間と共に大腸菌が減少し最終的にはプラン-D C 乳酸菌のみになりました。



テクノハーベスト乳酸菌により大腸菌が消滅しています！

参考文献

—